

卒業 おめでとう ございます!

2月は暖かい春の日ざしを感じることがありましたが、3月に入り寒の戻りがあり、少し寒い中の卒業式となりました。しかし、常にパワー全開、エネルギーあふれる、学校を明るく元気にしてくれた6年生でしたので、寒さを感じない素敵な卒業式となりました。

卒業証書を手にした93人、一人ひとりが立派な決意を述べ、とても輝いていました。そんな桜塚小の誇り、素晴らしい6年生に送った式辞の一部(前文を省略)を紹介します。

HERO、6年生の学年目標でしたね。心ひとつにハートのH、Eは笑顔、Rはリーダー、Oは大きな存在、そして、みんながヒーローになろうという思いが込められていると聞きました。どんな一年になるか、とても楽しみでした。

君たちは、「個性豊かで、多様な価値観を持っている子が多い」学年でした。だから、集団として活動するのがとても難しかったらと思います。でも、君たちは頑張りました。その姿を少し振り返ってみたいと思います。

最高学年6年生としての初仕事は入学式、一人の入学児童に数人の6年生が付き添っていました。優しくするのが得意なので、誰一人困らせないようにしないと・・・という強い思いがそこにありました。入学式だけでなく、毎日校門に立って下級生を見守ってくれたり、一緒に遊んでくれたりしていました。朝のあいさつでは、「おはよう!」と声をかけるだけでなく、「学校に行きたくない」と泣いている子にそっと寄り添い、「一緒に行こう」と安心感を与えてくれました。忘れ物を届けに来られた保護者の方に「持っていきましょうか」と助けてあげました。そんな活動を卒業まで続けてくれた子たちは、「善行少年表彰」を受けました。一人から始まった活動は6年生全体にも広がり、朝から活気のある学校になりました。6年最後の日には、「本当にありがとう!」と一年生や保護者の方からお礼がありました。

君たちの行事に向かう姿勢はいつも真剣でした。

小学校生活最後の運動会。緊張感に満ちた中で始まった練習。難しい技に挑戦した時は、運動の得意な子がみんなの不安を払拭しようと、互いに励まし合う雰囲気をつくっていました。当日、一番大切にしてきた「友達との絆」、その集大成を最高の演技で表現しました。そこには、友だちを信じ切ったかっこいい、輝いた姿がありました。

学習発表会、体育館中にとっても美しいハーモニーが響き渡り、胸があつくなりました。クオリティの高い、最高の合唱ができたのは、歌の好きな子が響く声でみんなをリードしてくれたからでしょう!在校生は君たちの歌っている姿を真剣なまなざしで見つめ、うっとりしていました。この後の門出の歌もとても楽しみです。最後の合唱、最高のハーモニーで締めくくってください。

5年生からみんなで取り組んだ、駅伝、縄跳び、百人一首。駅伝は大阪府大会に2年連続入賞、走るのが好きな子が大門公園に集まって練習、走るのが得意でない子はうちわや横断幕など応援グッズを作成。選手は12名でしたが、入賞に導いたのは93人全員の手でした。岩元教育長から、桜塚小の応援が一番でしたと褒めていただきました。

リズム縄跳びも大縄跳びも在校生のあこがれでした。特に、大縄八の字跳びは、3組とも豊中市内で

トップを争い、優秀な成績を残しました。縄を回す子も跳ぶ子も息を合わせてひたすら跳び続ける技は見事でした。

百人一首もすごい!の一言。上の句の一文字を読むだけでとれる子がたくさんいました。いつでも、得意な子もそうでない子もみんなで楽しむことができていました。

そして、最後の行事、お別れ遠足、全員出席!全員そろっていることが何よりも喜びでした。乗り物、速い系が得意な子、苦手な子同士でグループを組み楽しんでいました。お天気にも恵まれ、時間いっぱい思い切り遊びました。最高の笑顔でした。

君たちのパワーが一つになる瞬間。全員がヒーロー。それは仲間を信じ切って、全力で、みんなの気持ち、心が、一つになる瞬間でした。その時、最高のエネルギーが放出され、その場にいる人をひきつけます。それは、誰一人取り残さない思い、どんな困難も立ち向かおうとする勇気、ゆるぎない精神というたくましさと同時に、そこにある優しさ、温かさがあったからだと思います。

まだまだ、たくさん心に残る6年生立派な姿があります。歩んできた軌跡は語りつくすことができません。「今」を精一杯生き、そして、感動を与えてくれた君たちへ大きな拍手を送りたいと思います。

君たちが社会に出る頃、世界はどのように変わっているのでしょうか。コロナ禍、君たちは一人一台のタブレットを手にしました。多機能を備えたこの機械は君たちの知っている世界をどんどん広げていきました。情報を簡単に得られる生活をし、いつでもどこでも人とつながることのできる日々、そんな生活が楽しそうですが、気づかぬうちに自分を苦しめていることに気づいていないでしょうか。

たくさん手にする情報は正確性が問われます。人というのは、自分に都合のいい情報を集め、その情報が正しいと信じてしまいます。人との交流がなければ、自分一人の狭い価値観で情報を処理し判断してしまいます。また、例えば人と交流していても、自分と同じ考えの人だけとつながっていたら、時に大きな過ちを犯すこともあります。だから、常日頃から自分の周りには様々な人と対話し、多様な考えを受け入れ、そして、自分としての考えや意見を持つこと、そのことが何よりも大事だと考えます。

君たちはこの桜塚小学校で「人と人とのつながり」が生きていく上で最も大切で、正しくつながった集団は何よりも強いことを学びました。どんな社会になろうとも、そのことを、この先もずっとずっと忘れずにいてほしいと願っています

太陽の熱は、約六千度、地球に届くまで約八分、その距離はなんと一億五千万キロ。熱い太陽の熱も、地球に届くころはとてもやさしい光と心地よい温度となります。生きていれば、嬉しいこと楽しいことばかりではありません。悲しいことや辛いこと、苦しいことなどたくさんあります。それでも、太陽の熱のように、時間が経てばきっとそれらは全て生きるためのエネルギーとなるのです。

「一人で見る夢はただの夢、みんなで見る夢は現実になる」、私の大好きなビートルズ、ジョンレノンの言葉です。今年の6年生にぴったりの言葉だと思いました。

最後になりましたが、保護者の皆さま六年間様々な活動のご支援、ご協力いただきましたこと、心から感謝申し上げます。本日、卒業する子ども達とそして、保護者の皆さまとともに、充実した日々を送れたこと嬉しく思います。学校として至らぬこともありましたが、最後までご理解、ご協力、ご支援いただき本当にありがとうございました。

さて、いよいよ最後の授業が終わりの時を迎えます。最後は「よろこびの交歓」、かっこいい、素敵な君たちをしっかりと目に焼き付けておきたいと思います。

卒業生のみなさん、楽しい日々をありがとう!君たちは桜塚小学校の誇りです。桜塚小の伝統を引き継ぎ立派な姿で5年生にバトンを渡してくれました。これからも、自信を持って、未来に向かって、大きく羽ばたいて下さい。期待します。以上、私の式辞とします。

令和6年(2024年)3月18日

豊中市立桜塚小学校

校長 後藤るみな